

ストレートワイヤーエッジワイズシステム

＜矯正実習（基礎）2日間コース III＞

ストレートワイヤーエッジワイズシステムを用いるにあたり、不可欠な(重要な)2つの要素があります。第1に適切な治療計画、第2には正確なブラケットポジショニングです。このどちらが欠けても、良い治療結果は得られません。今回はこれらの2つの要素について、実習を交えながら講演していききたいと思います。

先生方は、日常の臨床の中で其々のケースについて診断し、治療方針を決定されていると思います。エビデンスを知る事により、臨床における決断に自信が持て、スキルの偏りを防ぐことができます。

実習では、さまざまなサイズ、形態、また咬耗のある歯などについて、ワイヤーベンディングが最少ですみ、効率良く治療が行えるブラケットポジションの決定方法をお話し、実際のボンディングを行ないます。

今回の講習が、ストレートワイヤーエッジワイズシステムを効率的に移働させるための、知識と技術の習得のお役に立てれば幸いです。



講師：
中西 秀郎先生

なかし ひでお

- 2002年 大阪歯科大学歯科矯正学講座入局
- 2006年 ペンシルベニア州テンブル大学大学院 (歯科矯正学)修了
- 2006年 マスター・オブ・サイエンス (テンブル大学)取得
- 2006年 米国矯正歯科学会認定医(ABO)取得
- 2007年 米国歯科医師国家試験合格

第一日目

- 矯正治療におけるエビデンスとは？
- 装置とメカニクスの選択
- McLaughlin Systemの有用性
- ブラケットプレースメント実習

第二日目

- ストレートエッジワイズシステムを用いた各種臨床例
- エビデンスから考える一期治療の時期と装置選択基準
- 治療計画立案実習
- より良好な咬合関係を構築するためのインターディスタプリナリーアプローチ

エビデンスに基づいた医療
(Evidence-based Medicine: EBM)

EBMのスキルは臨床における決断に自信を与えるものであり、経験を通じたスキルの偏りを防ぐものである。ただし、患者の好み、優先順位、社会的、文化的要素を含まないEBMは存在しない。 Anderson 2002

目標とする静的咬合

目標とする動的咬合

RPE+Face mask therapyによって改善したOverjetの割合

上顎骨の近心移動	31%
下顎骨の後方回転	21%
上顎前歯の唇側傾斜	28%
下顎前歯の舌側傾斜	20%

↓

- ・Wits analysisで換算すると4~6mmの改善
- ・A-pointで2~4mmの前方移動
- ・ANBで0.9~4.4° (平均2.8°)の改善

日時 2018年3月7日(水) 10:00~17:30
3月8日(木) 9:30~17:00
※3月7日(水)に懇親会を予定しております。

定員 20名
お申込・お問い合わせ先 株式会社 松風 矯正課 松風矯正セミナー係
Tel.03-3832-1824 Fax.03-3832-7682

場所 (株)松風 京都本社
〒605-0983 京都市東山区福福上高松町11

受講料お振込先 みずほ銀行 上野支店 普通口座:4455789
口座名:松風矯正セミナー

受講料 ¥64,800 (実習材料費、昼食費、消費税含む)
※懇親会費 ¥5,400 (消費税含む)

※振込を持って受講受付とさせていただきます。※振込手数料はご負担下さい。
※振込時のご利用明細をもって領収書とさせていただきます。
※懇親会のご名義には、なるべく参加される先生のお名前を加えていただくようお願い申し上げます。

お申し込みはFAXにてお願い申し上げます。

FAX送信先：株式会社 松風 矯正課 03-3832-7682

ストレートワイヤーエッジワイズシステム III 参加申込書			
<input type="checkbox"/> セミナーのみ参加・¥64,800		<input type="checkbox"/> セミナー／懇親会参加・¥70,200	
フリガナ ご氏名	フリガナ 勤務先		
ご住所	(〒 -)		
e-mail	TEL	FAX	

※ご提供いただきましたお名前、ご住所、お勤め先、お電話番号等の個人情報は、今回の講演会及び今後開催される講演だけに利用し、管理いたします。